



地域社会への貢献

地域社会の一員であることを自覚し、グローバルかつローカルに世界各地で社会貢献活動に積極的に取り組んでいきます。



GLOBAL MESSAGE



コミュニティ・プロジェクトを通じた貢献

当社は、社員が地域の伝統や文化に親しむことを目的とした活動を支援しています。タイ人やミャンマー人の社員に、仏教にかかわる地元のさまざまな活動に参加するよう促しています。たとえば休日に行われる寺院の清掃、そしてガティン (Krathin) 祭や寺院にロウソクを奉納する盛大なキャンドル・フェスティバルなどのイベントです。これらの活動への参加は社員と地域住民の双方に喜びと充足感を与えています。こうした活動は社員と地域社会との間の良好な関係構築に貢献すると同時に、地域における会社の評価を高めることにつながっています。

Sumitomo Electric Wiring Systems (Thailand) Ltd. (SEWT) (タイ)

総務人事 > 課長補佐

オラノン ムアドマニー

基本的な考え方

住友電装グループは、国内のみならず海外にも広く事業展開をしています。私たちは、地球上の人をはじめとするあらゆる生命体が共存共栄する世界と、それを支える地球環境全体を地球社会と認識し、当社グループのグローバル事業を成功させ、自らが繁栄することを通じてこの地球社会に貢献していきます。社会の一員であることを自覚し、企業市民として地域社会の発展への寄与、社会貢献活動などに積極的に取り組んでいきます。

社会貢献活動の推進

住友電装グループは、社員が自らその居住する地域の社会課題を見つけるなどして、それぞれの地域で積極的に社会に参画することを広く呼び掛けています。当社は30を超える国と地域に進出しており、グローバルで雇用している従業員は20万人を数えます。全従業員が仕事(ワーク)、余暇(ライフ)に加え、社会(ソーシャル)という視点を追加して地域社会で貢献し、それぞれの地域から評価される姿をめざしたいと考えています。

そして、その活動を通じて、社員が喜びを得られ、事業活動とは別の形で自ら成長していけるよう、社内に社会貢献推進の専門委員会を設ける準備を進めるなど、支援する体制を充実させていきます。また、当社グループの社会貢献活動の活動報告や情報交換の場として、住友電装グループ報に情報を公開しています。

国内の取り組み

本社のある三重県内、その他の事業所がある地域において、障がい者スポーツの普及や無料コンサートの開催などを通じて地域住民の皆さまとの積極的なコミュニケーションを図っています。

● 無料コンサートに1,700名招待

2017年に設立100周年を迎えた当社は、7月に四日市市出身のヴァイオリニストと地元交響楽団によるコンサートを実施しました。地域の芸術文化振興と同時に、地域社会への報恩感謝を伝えるため、地域住民1,700名を無料招待しました。来場者からは感謝の声を多数いただきました。



住友電装グループ報



コンサートのチラシ

● 「ボッチャ」の普及啓発を支援

住友電装グループは、2018年3月に日本で初めて開催された障がい者スポーツ「ボッチャ」国際大会のオフィシャルスポンサーとして競技をサポートしました。また、パラリンピックや2021年に三重県で開催される全国障害者スポーツ大会（三重とこわか国体）の正式種目であるボッチャの普及支援のため、県内の特別支援学校8校に公式球のセットを寄贈しました。

今後も障がいへの理解促進や障がい者の自立と社会参画に向けて、積極的な支援を行っていきます。

● スポーツ振興

当社では、MIE WOMEN'S RUGBY FOOTBALL CLUB「PEARLS（パールズ）」の支援を行っています。2018年度は、女子ラグビーの日本代表経験もある選手を含むトップアスリートを3名採用しました。また、2020年東京オリンピックの正式種目であるスポーツクライミングの一種であるボルダリングで、ワールドカップ優勝経験のある選手1名を採用しました。今後も三重女子ラグビークラブチームの活動支援をはじめ、スポーツ選手の雇用支援、障がい者スポーツ普及活動、スポーツ振興に取り組んでいくことで、スポーツを通じた社会貢献を行っていきます。

▶ SEWT(タイ)の取り組み

海外の各事業所においてもその国・地域の文化・ニーズに合った社会貢献に取り組んでいます。Sumitomo Electric Wiring Systems (Thailand) Ltd. (以下、SEWT)では、住友電装の社会貢献基本理念に加え、王室への崇敬と熱心な仏教信仰というタイ特有の事情を尊重した活動を推進しています。また、カーメーカーが主催する社会貢献活動にも積極的に参加しています。活動は2000年から始まり、タイ王室が主導する麻薬撲滅活動への参加、寺院に対する修行僧用の食料品の寄進、植樹、教育活動など、幅広く取り組んでいます。

SEWTはこれからも「良き企業市民」として、地域に密着した活動を通じてタイの発展に貢献していく考えです。

● To Be No.1 活動への参加

「To Be No.1 活動」とは、タイのウボンラット王女が主宰する麻薬撲滅のための王室プロジェクトです。SEWTでは、2007年度から麻薬の予防や治療に寄与する意識喚起、麻薬に対する青少年の精神的免疫力の強化、麻薬濫用防止と治療のためのネットワーク構築などに取り組んでいます。

2017年度は社員1,500名が参加し、社員同士だけでなく、家族や近隣の子どもたちに対して麻薬の恐ろしさを伝えました。

● 職場・住環境の改善

SEWTはタイ国内でラヨン地区に4工場、ラチャブリ、カンチャナブリ地区（以下R/K地区）に2工場を構えており、R/K地区では多くの外国人が従事しています。2017年度はR/K地区で、職場や従業員寮の環境改善を実施しました。工場では休憩所を整備したほか、従業員寮では寮前の道路舗装、プライバシー保護用の壁を設置しました。外国人労働者の管理について法律改正などで規制強化を行っているタイにおいて、SEWTは模範事例として評価されました。



ボッチャ公式球の贈呈式



ボッチャ競技

Voice

スポーツクライミングの 世界に通用する 競技力と認知度向上

住友電装(SWS)
総務部広報 CSRグループ
スポーツクライミング選手
渡部 桂太



私は2017年9月、スポーツクライミング選手として住友電装に入社させていただきました。

スポーツクライミングの一種であるボルダリング競技は4～5課題を制限時間の中で、壁に取り付けられたホールドと言われる突起物の組み合わせられた課題を読み解き、登りきれるかどうかを競います。

大会ごとに課題は作り変えられるため、色々な課題を登りきる経験が必要となり、普段の練習から日本全国のクライミングジムに遠征し、世界をめざしています。

スポーツクライミングは2020年東京オリンピックの開催国枠の競技として採用されましたが、認知度は低いのが現状です。

現在、競技普及の一環として社員を対象としたボルダリングイベントを定期的で開催しており、参加者も増加傾向にあります。

今後は規模を拡大し、社内イベントはもちろん地域を巻き込んだイベントになれば良いと考えています。